

具体的な事例を通して、インターネットトラブルについて考える学習の事例

生活

小学校 第6学年 特別活動（学級活動）

授業づくりのポイント

- 法やきまりの意義を理解し進んで守り、自他の権利を大切にしようとする意識や態度を育てる。
- スマートフォンや携帯電話の使い方について、身近にあるトラブルなどの事例を活用しながら、自分ならどうするかを具体的に考えさせる。
- 中学進学を見据え、スマートフォンや携帯電話の正しい使い方を理解し、SNSルールを、自分で考えたり見直したりすることができるようにする。

単元（題材）について

1 題材名 スマートフォンや携帯電話の使い方を考えよう。

2 目標

I-5 スマートフォン・携帯電話等使用時の安全

スマートフォン・携帯電話等を使用するときの危険、SNSに関するトラブルやサイバー犯罪について理解し、安全に利用できるようにする。

3 教材化の視点

児童の携帯電話やスマートフォンの使用状況は、通信型ゲームや動画投稿サイト、無料通話アプリ、SNSが多く、インターネット上でコミュニケーションを図っている。しかし、家庭で決めた使用時間やルールを守ろうとする意識は必ずしも高いとは言えず、トラブルや危険性について理解はしているものの、自分の身に起こる可能性があること、考えていない児童も多い。

具体的な事例を用いることで、誰でもトラブルに巻き込まれる危険性があることを実感させ、実生活と深くつながっているSNSを、適切に活用するためにどうすればよいかを考えさせる。

指導計画（3時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	○インターネットトラブルに関する事例を基に、インターネットをどのように使用していけばよいか、情報モラルについて考える。	◎インターネット上のトラブルで、やってはいけないことについて考えさせる。 ◎SNS東京ノートを活用し、個人情報の投稿や、ネットいじめなどのインターネットの不適切な使用方法について、法の遵守の観点から考えさせる。
2	○言われて嫌だと感じる言葉には、個人差があることに気付く。 ○顔を合わせて話した時と、インターネット上でのやり取りでは感じ方が違うということに気付かせ、そのことがトラブルにつながることに気付く。	◎同じ言葉でも人によって感じ方が違うということに気付かせ、インターネット上でも相手の立場に立って考えることの大切さを理解させることにより、自律的に判断して行動できるようにする。
3 (本時)	○中学校進学に向け、インターネットとどのように付き合っていけばよいか、使い方のルールについて具体的に考える。	◎これまでの生活やインターネットやSNSの使い方を振り返らせ、なぜルールが必要なのか考えさせる。 ◎これからの生活で、自分が守れるルールを決めさせる。
事後指導	安全指導日を設け、子供たちに自己の取組状況を定期的に振り返らせるとともに、保護者会や学級だよりで子供たちの取組の様子を紹介し、家庭の意識も高める。	

計画

実行

評価・改善

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

生活安全

交通安全

災害安全

避難訓練

参考資料

関連する法規等
学習指導要領等

指導事例（第3時／3時間）

1 ねらい

スマートフォン・インターネットや、SNSの利便性と危険性を理解させ、うまく活用するための約束事を具体的に考えることができるようにする。

2 ポイント

- ・児童の年齢に近い子供がトラブルに巻き込まれた事件の事例を扱い、どのようなSNSの使用環境が危険なのかを実感をもって考えられるようにする。
- ・ルールづくりでは、SNSをうまく活用するために必要なことを意識させる。

3 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	○前時の学習から、SNSの使い方やルールについて振り返る。	◎ルールを守るだけでなく、いつ、どんな場面でも、誰に対しても相手の立場に立って考えることや、自立的に判断して行動することの大切さを、事例を基に想起させる。
展開	○SNSを介したトラブルの原因について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・面白そうな見出しにひかれてアクセスしてしまい、危険なサイトに入ってしまった。 ・やり取りに夢中になり、写真や位置情報等、個人情報を載せてしまった。 ・利便性を優先させて、フィルターを掛けていなかった。 ・おかしいなと思っても、誰にも相談しなかった。 ・分かっているでも自分を制御できなかった。 	◎近日に起こった、SNSを介して犯罪被害に遭った事件の例（年齢が近い事例）を提示し、考えさせることで実感をもたせ、自分も似たような経験がないか振り返らせる。 ◎SNSの使い方、危険性を理解していても、利便性や面白さ、大丈夫だろうという気持ちの緩み等によって、犯罪に巻き込まれていることを意識させる。 ◎SNSには便利な側面もあり、生活と切り離せない状況もあること、その上でどのようなことを意識すると、安全に利用できるか考えさせる。 ◎WHOが認定した「ゲーム障害」に触れ、健康や社会生活に影響を及ぼすことも理解させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> スマートフォン・インターネットをうまく活用できるように、「使い方マイルール」を決めよう。 </div>	
	○自らの生活の中で、SNSを利用する機会、利用する目的を振り返る。 ○中学校への進学を想定し、環境が変わることを踏まえ、トラブルに巻き込まれそうな可能性は無いか、防ぐための方法は無いかを考える。 ○自分がもし、トラブルに巻き込まれたらどうなるかを考えるとともに、巻き込まれた時の対処法についても考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて、家族や大人に相談する。 ・相手とのやりとりを止める。 	◎SNSの利便性を理解し、うまく活用するための心得と犯罪等に巻き込まれやすいSNS環境から身を守る方法を考えさせる。 ◎自分でできること、家族にも協力してもらうことを考える。 ◎自分が巻き込まれた場合、自分以外の家族や友達、学校への影響などについても考えさせる。 ◎中学校進学に向け、環境が変わる、友好関係が広がる等、マイルールを守ることの大切さを自覚させるとともに、他者を危険に巻き込まない意識をもつことの大切さを確認する。 ■中学進学に向け、「使い方マイルール」を作成している。（ワークシート・発言）
まとめ	○SNSの特徴を理解し、うまく活用するために大切なことを振り返る。	◎環境が変わることで、想定される状況も変化することから、定期的に自分や周りの状況を振り返り、意識することを見直す必要があることを押さえる。

児童の感想

- ・災害時の情報源や連絡ツールとして、SNSを利用することもあり、生活には欠かせないものであるからこそ、うまく活用する意識をもつことの大切さを改めて実感した。
- ・「もしかして」という気持ちを常にもって利用するようにする。

児童の変容

- ・自分で決めた「使い方マイルール」を定期的に見直したり、家庭で話し合ったりする姿が見られた。